

港南造形タイムズ

第41号

日本伝統工芸展で “鑑賞教室”

＜平成24年10月20日（土）朝日新聞 朝刊掲載＞



＜朝日新聞より＞

10月19日（金）午後5時から開催された日本伝統工芸展大阪展の作品解説（会場：JR大阪三越伊勢丹）に、本校の陶芸部、クラフト部、ファイバーアート部、漆芸部の生徒37名が参加し、その様子が朝日新聞に掲載されました。

この作品解説は、大阪の伝統工芸の継承・発展を目的として、第59回日本伝統工芸展大阪展の一環として行われたもので、日本工芸会、大阪府教育委員会文化財保護課と本校

が連携して取り組んだものです。

当日は、陶芸や染織など7部門の展示を見て回り、金属工芸部門の三好正豊氏、木工部門の藤崎一正氏をはじめとして、それぞれの部門で日本工芸会の会員の方に作品の解説をしていただきました。

生徒が技法や素材などについて質問をし、その質問の内容を褒めていただく場面もありました。「すごく繊細で美しい。私もいろんな表情のある作品を作りたい。」との生徒の感想もあり、鑑賞教室に触発され制作への意欲も一層喚起されたようです。

津波を想定した避難訓練を行いました

10月25日（木）、地震・津波を想定した避難訓練を行いました。

14:50分に「地震発生、生徒は安全を確保して待機」の指示を発し、その約5分後に「津波警報発令。決められた経路で5階へ避難」の指示を出しました。すぐに事前指導を受けた保健委員の誘導で避難を始め、約10分で全生徒の5階への移動と人員確認を終えました。

火災を想定した避難訓練のときよりも生徒は真剣で、「自分の命を自分で守る意識を高めること」「地震・津波等の緊急事態に際して、迅速に安全な行動をとり、階段等の避難経路を使い、避難できるようにすること」という、訓練の目標は概ね達成できました。

緑の募金キャンペーン・バッジ 新聞で紹介

＜平成24年10月27日（土）産経新聞 朝刊掲載＞

「緑の募金 秋のキャンペーン」のピンバッジのデザインを本校3年生の大西京香さんが考案したことが、10月27日（土）の産経新聞朝刊で紹介されました。

本校では平成23年の秋のキャンペーンから公益財団法人大阪みどりのトラスト協会と連携して「緑の募金」のキャンペーン・バッジのデザインコンペを校内で行っており、最優秀賞を受賞した大西京香さんのデザインが採用されたものです。



このバッジは、「クリ」をモチーフにしたもので、その親しみやすいデザインが、緑の募金活動を一層盛りたてていくものと期待しています。

また、10月23日（火）夕方、なんばで1年生から3年生までの9名の生徒が「緑の募金」の街頭募金活動を行いました。

生徒の呼びかけに足を止めてくださる方も多く、14,510円の募金が集まりました。